

# IT 経営カンファレンス in 沖縄 2017 講演報告書

## テーマ “儲かる経営体質”のヒントがここにある！

今回で第3回の「IT 経営カンファレンス in 沖縄」は、会場一杯の参加者の皆様をお迎えして、開始されました。



日時 2017年3月6日（月）13時～17時

場所 沖縄産業支援センター（沖縄県那覇市）中ホール

主催 ITコーディネータ沖縄、沖縄県中小企業家同友会情報関連部会「eおきなわ」

共催 ITコーディネータ協会（ITCA）

後援（18団体） 内閣府沖縄総合事務局、沖縄県、那覇市、沖縄県工業連合会、沖縄県産業振興公社、沖縄県中小企業診断士協会、沖縄県中小企業団体中央会、中小機構沖縄事務所、沖縄県商工会連合会、那覇商工会議所、沖縄県情報産業協会、フロム沖縄推進機構、沖縄県専修学校各種学校協会、沖縄銀行、沖縄海邦銀行、コザ信用金庫、琉球新報社、沖縄タイムス社

参加者 125名

## 1. 主催者挨拶

ITコーディネータ沖縄代表理事 新里智彦様



ITコーディネータ沖縄は、経営とITを支援する専門家として、中小企業経営者の立場に立って攻めのIT経営をしていることを紹介され、本日のカンファレンス開催に際して、講演者、出席者、支援団体の皆様へのご協力の御礼を差し上げました。



司会 大城桂子様は、ITコーディネータ沖縄理事大城様の奥様です

## 2. 来賓ご挨拶

内閣府沖縄総合事務局経済産業部地域経済課課長 玉城秀一様



沖縄の経済的自立発展は、中小企業と小規模企業の成長が重要でIT経営をなくしては、企業の存続したいが難しい時代であり、企業経営のグローバルの視点、さらに沖縄の経済概況について説明されました。

これらに対応するため政府の「ビッグデータ」「IoT」「AI」「ロボット」第4次産業革命の支援、中小企業のIT経営への補助事業、また「情報提供」「人材育成」「技術の確立」など産学官連携が強化されている施策をご紹介されました。

今後の沖縄産業の発達のため、ITコーディネータのIT経営支援を期待されているとのお言葉を戴きました。

## 3. 講演 「国の施策と連携した中小企業戦略」～ITによる新時代を迎えて～

講師 ITコーディネータ協会会長 播磨崇様



ITコーディネータ協会のご紹介を含め、今までITコーディネータ向けだったガイドラインを昨年9月に経営者やIT推進者向け「IT経営推進プロセスガイドライン」へと改訂した経緯をご説明されました。

「IoT、ビッグデータ、人口知能」の新時代を向かえ製品、サービス、仕事の変化、更に社会やビジネスのあり方そのものを根底から揺るがす大変革が進んでいることを紹介されました。

国の施策の第4次産業革命の展開、中小・小規模事業者のIT利活用促進、地方創生において、IT活用をしている取組事例を説明されました。これからの中小企業のIT利活用推進、攻めのIT経営に向けて、経営者はITに強い関心を持ち、共創による発想の転換、ゼロベースの思考、「Repeat Small Wins」が必要だと訴えられました。

## 4. 講演「ペタルーナにおける攻めのIT活用のご紹介」

講師 株式会社アイティオージャパン 専務取締役 伊藤貴庸様



沖縄県と広島県で「ペタルーナ」によるアロマセラピー事業を展開されている伊藤様からは、自社の経営の課題を図るためにIT導入を検討された経緯、助成金活用によるIT導入、IT導入による改善された事をご紹介いただきました。

IT導入により、店舗内で情報共有ができ、店舗間でも情報共有が実現し顧客サービスが大きく向上した。スタッフ間のコミュニケーションが円滑化し、社員が経営に対する参画の仕組みができた。現在はSNSのページビューは数千ビューに達し、マーケティングは紙媒体ではなくSNSで行っている。また、SNSは日本市場にのみならず外国の市場開拓にも繋がる。ITは費用ではなく、顧客獲得をする為の投資であり、積極的なIT活用が経営には不可欠であると力強いお言葉を戴きました。

## 5. 基調講演1 「未来を味方にする技」

～ ITがもたらす常識崩壊とは何か、そんなITを味方に付ける方法とは ～

講師 ネットコマース株式会社代表取締役 斎藤昌義様



「SI崩壊」の著者である斎藤様は、現在の社会で進んでいる常識破壊の例として、人の声によりサービスを提供する「AMAZON エコー」、新人女性オペレータでも操作できる「コマツ社の無人建設機械」、作業者と一緒に働く「グローリー社の工場ロボット」とインパクトある映像から講演を開始されました。

現在の社会は人が仕事をするを前提にしているが、これからはITやロボットなどの機械が仕事をするのが前提の

「デジタルトランスフォーメーション」の時代である。米国ではウーバーの配車ビジネスにより、イエローキャブタクシー会社が倒産するまでに至っているなど、戦略的 IT 活用による社会変革が起こっていることを映像にて力説された。 いままで IT は業務の道具・ツールとみなされていたが、これからの IT はビジネスそのものであり、ポケモンビジネスは売上 1000 億円を創出している。 我々は今までの IT の認識を変える必要があるというインパクトある講演を頂きました。

## 6. 基調講演 2 「IoT で実現する新しいビジネス」

～すべてをつなぐことで生み出すイノベーション～

講師 株式会社ウフル専務執行役員 IoT イノベーションセンター所長

兼エグゼクティブコンサルタント八子知礼様



Mr. IoT こと八子様は、今日はフルデジタルの時代であり、データ活用により資産が無くとも業界を駆逐する新しいビジネスことが出来ること、また「IoT はモノのインターネット」ではなく「IoT はモノゴトのインターネット」であると強調された。

日本における中小企業での IoT は、「身の丈の IoT」が重要である。水道ポンプ稼働データによる IoT 事例、IoT 活用カキ養殖、農業データ可視化の IoT 事例など身近な IoT 活用例を分かり易く紹介された。

車や飛行機がリアルタイムで発生している膨大なデータは現在殆ど使われていないが、リアルタイムで利用することで新ビジネスが発生する。GE 社ではエンジンの稼働データを活用することで、エンジンの時間使用量で課金する新ビジネス、エンジンの解析データによる航空会社へのコンサルティングビジネスなど、世界で起こっている IoT データ活用による新しいビジネスを数えられないほど紹介されました。

AI (人口頭脳) は、IoT が発生する大量なデータを分析シミュレートすることで将来を予測できるようになり新しいビジネスが生まれる。これからの日本、沖縄では「人に注目する IoT ビジネス」に期待ができると参加者を元気づけて、講演を終了されました。

## 7. 閉会あいさつ

沖縄県中小企業家同友会 情報関連部会「e おきなわ」 部長 高橋庸正様



共同主催者である中小企業家同友会情報部会高橋部長からは、同友会の事業概要として企業経営の教育、IT 普及活動などを説明され、最後に講演者、出席者、協力団体への感謝を述べられて、IT 経営カンファレンス in 沖縄は大きな拍手と共に終了しました。

文書作成：IT コーディネータ沖縄 理事中久喜唯男、理事山城智美